

2018年度 決算公告

東京都渋谷区道玄坂一丁目10番8号
東急少額短期保険株式会社
代表取締役 川崎 雄介

2018年度（2019年3月31日現在）貸借対照表

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
現金及び預貯金	428,486	保険契約準備金	1
預貯金	428,486	責任準備金	1
その他資産	3,486	その他負債	4,397
未収保険料	1	未払法人税等	265
前払費用	648	未払金	162
その他の資産	2,836	未払費用	3,810
供託金	10,000	預り金	158
		賞与引当金	584
		負債の部 合計	4,982
		（純資産の部）	
		資本金	299,500
		資本剰余金	199,500
		資本準備金	199,500
		利益剰余金	△62,010
		その他利益剰余金	△62,010
		繰越利益剰余金	△62,010
		株主資本合計	436,989
		純資産の部 合計	436,989
資産の部合計	441,972	負債及び純資産の部合計	441,972

- （注）
1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。
 2. 賞与引当金は従業員賞与に充てるため、支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を基準に計上しております。
 3. 消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

4. 責任準備金の金額は保険業法施行規則第 211 条の 46 の規定に基づく準備金であり、同第 1 項第 1 号イに規定する未経過保険料の金額は、純保険料等に基づく算出方法により計算しております。

5. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

少額短期保険業者の資産運用は、預貯金（外貨建てを除く）・国債・地方債等に限定されているうえ、当社では安全性・流動性の確保のため預貯金による運用を基本方針としております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

当事業年度末における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
① 預貯金	428,486	428,486	—

(注) 金融商品の時価の算定方法

当社が保有する金融商品のうち重要性があるものは上記表のとおりですが、これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから当該帳簿価格によっております。

6. 当事業年度末における支払備金及び責任準備金の内訳は次のとおりであります。

(支払備金)

該当はございません。

(責任準備金)

普通責任準備金	1 千円
異常危険準備金	0 千円
計	1 千円

7. 1 株当たりの純資産額は 43,786 円 55 銭であります。算定上の基礎である純資産額は 436,989 千円であり、その全額が普通株式に係るものであります。また、普通株式の当期末発行済株式数は 9,980 株であります。

2018年度 { 2018年4月2日から
2019年3月31日まで } 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	2
保険料等収入	1
保険料	1
資産運用収益	1
利息及び配当金等収入	1
経常費用	61,747
責任準備金等繰入額	1
責任準備金繰入額	1
事業費	61,745
営業費及び一般管理費	56,997
税金	4,614
減価償却費	133
経常損失	61,744
特別利益	—
特別損失	—
税引前当期純損失	61,744
法人税及び住民税	266
法人税等合計	266
当期純損失	62,010

- (注) 1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。
 2. 正味収入保険料は1千円であります。
 3. 正味支払保険金は該当ございません。
 4. 支払備金繰入額(△は支払備金戻入額)の内訳は該当ございません。
 5. 責任準備金繰入額(△は責任準備金戻入額)の内訳は次のとおりであります。

普通責任準備金繰入額	1千円
異常危険準備金繰入額	0千円
計	1千円

6. 利息及び配当金等収入の内訳は、預貯金利息 1 千円であります。
7. 1 株当たりの当期純損失は 12,785 円 60 銭であります。算定上の基礎である当期純損失は 62,010 千円であり、その全額が普通株式に係るものであります。また、普通株式の期中平均株式数は 4,850 株であります。なお、潜在株式がなく 1 株あたり当期純損失であるため記載しておりません。